

1. 件名：「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（35）」

2. 日時：令和4年5月26日（木）16時45分～17時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

審査グループ 核燃料施設審査部門

小澤安全管理調査官、石井企画調査官、中野上席安全審査官、羽場崎主任安全審査官、岸野主任安全審査官、野村主任安全審査官、青木安全審査専門職、内海安全審査専門職、川村安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社

貯蔵保全部 土木・建築担当 他3名

5. 要旨

(1) リサイクル燃料貯蔵株式会社（以下「RFS」という。）から設計及び工事の計画の認可申請書のうち使用済燃料貯蔵建屋等の耐震設計に関して、新規制基準適合性審査によって本施設が受ける地震荷重が当初より大きくなっていることから、基礎スラブの評価結果、杭の評価結果等が大きく変更していることのメカニズム、その理由等について説明を求め、確認した。

(2) RFS から、本日の説明は口頭であったため、説明した内容については改めて補足説明資料として提出する旨の発言があった。

6. 配布資料

なし